平成２９年度シラバス（保健体育）　　学番23　新潟県立新発田高等学校

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	3	学年　系	1学年普通科・理数科
使用教科書					
副教材等					

1　学習目標

各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2　指導の重点

・各種の基本的な個人的技能やルールを身につけさせる。
・社会的な態度を育てる。
・自己の体力に気づき、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送ることができる能力を育てる。

3　指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を１時限とした時間数）

期	月	単元名	学習種目	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
Ⅰ	4	オリエンテーション		授業内容説明、諸注意、諸連絡	1	
		体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	5	各単元の技術習得 各単元の特性の知識・理解 運動に関する関心・意欲・態度 課題解決のための思考・判断 出席状況（欠席・見学） グループノート
		体力テスト		自己の体力や運動能力の現状を把握し、体力の保持増進、健康管理に役立てることができる。	4	
	5	4領域選択Ⅰ	陸上競技（走種目・跳種目）	自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが出来るようになる。	12	
	6		器械運動（マット運動）	自己の課題に応じて、技の合理的な動き方のポイントがわかるようになる。健康や安全を確保して、適切な練習方法を選択することができる。		
	7	球技・武道選択Ⅰ	ソフトボール	個人的技能としては、スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。	12	
			テニス	個人的技能としては、グランドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス・レシーブなどを身に付ける。個人技能を活用して相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようになる。		
			サッカー	個人的技能のパス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュートなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
			柔道	基本的動作を身に付ける。簡単な入り方と返し方を身に付ける。しかけ技、応じ技を身に付けるとともに、自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに対応した攻防ができるようにし、試合をする。		
		雨天時球技選択者（屋内）	バレーボール	個人的技能としては、サービス、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロックなどの基本を身につけ、防御から攻撃への連携を生かし、ゲームができるようにする。		
			バスケットボール	個人的技能として、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につけるようにする。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
		体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	
Ⅱ	8	体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	5	
	9	球技・武道選択Ⅱ	サッカー	個人的技能のパス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュートなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。	10	
	10		ソフトボール	個人的技能としては、スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		

Ⅱ	10	球技・武道選択Ⅱ	テニス	個人的技能としては、グランドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス・レシーブなどを身に付ける。個人技能を活用して相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようになる。		
			柔道	基本的動作を身に付ける。簡単な入り方と返し方を身に付ける。しかけ技、応じ技を身に付けるとともに、自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに対応した攻防ができるようにし、試合をする。		
		雨天時球技選択者（屋内）	バレーボール	個人的技能としては、ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピンなどを身につけるようにする。相手の動きやフライトの特徴に対応して作戦を立て、ゲームが出来るようになる。		
			バスケットボール	個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身につける。相手の動きや打球に対応した作戦を立て、ゲームができるようにする。		
		持久走		自分のペースで取り組むことにより、体力の状態に気付いたり、積極的に体力向上を図る。	10	
	11	4領域選択Ⅱ	器械運動（マット運動）	自己の課題に応じて、技の合理的な動き方のポイントがわかるようになる。健康や安全を確保して、適切な練習方法を選択することができる。	10	
	12		ダンス	ダンスの特徴についての理解と課題の解決を目指した計画的な実践を通して、交流し発表す。		
Ⅲ	1	球技選択Ⅰ	バレーボール	個人的技能としては、サービス、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロックなどの基本を身につけ、防御から攻撃への連携を生かし、ゲームができるようにする。	21	
			バスケットボール	個人的技能として、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につけるようにする。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
	2		卓球	個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身につける。相手の動きや打球に対応した作戦を立て、ゲームができるようにする。		
			バドミントン	個人的技能としては、ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピンなどを身につけるようにする。相手の動きやフライトの特徴に対応して作戦を立て、ゲームが出来るようになる。		
	3	体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	

4　課題・提出物等　　96

新体力テスト記録用紙

5　評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点で行います

評価の観点・規準	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動している。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。

評価方法
- レポートや提出部の内容
- 授業への取り組み（授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況）
- テスト

以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。

6　担当者からの一言

・体育授業時における毎時間の体つくり運動の継続は、体力向上に大いに役立ちます。
・本校生徒は、皆一生懸命体力つくり運動に取り組んでいます。

平成２９年度シラバス（保健体育）　学番23 新潟県立新発田高等学校

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1	学年　系	1学年
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)				
副教材等	図説現代高等保健(大修館書店)				

1　学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2　指導の重点

わが国の疾病構造や社会変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにす

3　指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を１時限とした時間数）

月		単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
Ⅰ	4	現代社会と健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○私たちの健康のすがた ○健康のとらえ方	・わが国における健康水準の向上 ・わが国における健康問題の変化 ・健康についての多様な考え方 ・健康の成り立ちとその要因	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅰ	5		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○健康と意志決定・行動選択 ○健康に関する環境づくり	・意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因 ・健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫 ・健康づくりを支える環境 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくり	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅰ	6		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○生活習慣病とその予防 ○食事と健康 ○運動と健康	・生活習慣とは ・生活習慣病の予防 ・健康的な食生活の重要性と意義 ・健康的な食生活習慣の形成 ・健康からみた運動の意義 ・健康づくりのための運動習慣の形成	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅰ	7		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○休養・睡眠と健康 ○喫煙と健康	・健康からみた休養・睡眠の意義 ・健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方 ・喫煙の健康影響 ・喫煙開始の要因と依存性 ・喫煙への対策	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ	8 9		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○飲酒と健康 ○薬物乱用と健康	・飲酒の健康影響 ・飲酒開始の要因と依存性 ・飲酒への対策 ・薬物乱用の健康影響 ・薬物乱用開始の要因と社会問題 ・薬物乱用の防止と対策	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ	10		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○現代の感染症 ○感染症の予防 ○性感染症・エイズとその予防	・感染症とは ・新たに注目される感染症 ・再び問題となっている感染症 ・感染症予防の原則 ・現代の感染症対策 ・性感染症・エイズ ・性感染症・エイズの予防	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ	11		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○欲求と適応機制 ○心身相関とストレス ○ストレスへの対処	・欲求と大脳の働き　・さまざまな欲求 ・欲求不満と適応機制　・心身相関のしくみとストレス ・ストレスの影響と心の健康　・原因への対処 ・とらえ方を変えることによる対処 ・気分転換やリラクセーションなどによる対処 ・信頼できる人や専門家への相談	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ Ⅲ	12		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○心の健康と自己実現 ○交通事故の現状と要因	・自己実現と心の健康との関係 ・自己実現の道すじと達成 ・交通事故の現状 ・交通事故の要因	2	授業の取組 提出プリント レポート内容

Ⅲ	1		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○交通社会における運転者の資質と責任 ○安全な交通社会づくり	・安全な運転のための資質 ・交通事故の責任と補償 ・法的な整備と施設・設備の充実 ・車の安全性の向上	2	授業の取組 提出プリント レポート内容
	2		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○応急手当の意義とその基本 ○心肺蘇生法	・応急手当の意義 ・応急手当の手順 ・心肺蘇生法の意義と原理 ・心肺蘇生法の手順	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
	3		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○日常的な応急手当	・けがの応急手当 ・熱中症の応急手当	1	授業の取組 提出プリント レポート内容

4　課題・提出物等　32

・レポート
・配布プリント

5　評価規準と評価方法

評価は次の3つの観点で行います。

評価の観点・規準	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
	個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活・社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。

評価方法
・レポートや提出物
・授業への取り組み(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況)
・定期テスト

以下の観点を踏まえ、総合的に判断します。

6　担当者からの一言

保健を通して、健康についての基礎的な知識と現代社会におけるわが国の疾病構造などを理解することが大切である。社会の変化にともなって、健康と安全の問題も日々変化してきています。さまざまに変化する、健康問題に適切な対処をするために、自分が何を身につけ実践していくべきか学習し行動に移してほしいと願っています。

平成２９年度シラバス（保健体育）　　学番23　新潟県立新発田高等学校

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	3	学年　系	2学年普通科
使用教科書					
副教材等					

1　学習目標

各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2　指導の重点

・各種の基本的な個人的技能やルールを身につけさせる。
・社会的な態度を育てる。
・自己の体力に気づき、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送ることができる能力を育てる。

3　指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を１時限とした時間数）

期	月	単元名	学習種目	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
Ⅰ	4	オリエンテーション		授業内容説明、諸注意、諸連絡	1	
		体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	5	各単元の技術習得 各単元の特性の知識・理解 運動に関する関心・意欲・態度 課題解決のための思考・判断 出席状況(欠席・見学) グループノート
		体力テスト		自己の体力や運動能力の現状を把握し、体力の保持増進、健康管理に役立てることができる。	4	
	5	全領域選択 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	陸上競技 (短距離走・ハードル走 走り幅跳び)	自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが出来るようになる。	24	
	6		ラグビー	個人的技能のハンドリング・パス・キック・キャッチなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
			ソフトボール	個人的技能としては、スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようにな		
	7		サッカー	個人的技能のパス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュートなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
			テニス	個人的技能としては、グランドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス・レシーブなどを身に付ける。個人技能を活用して相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようになる。		
		体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	
Ⅱ	8 9	体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	6	
		持久走		自己の心身の状態を把握し、心拍数を使って運動強度を変えるなどして走ることが出来るようになる。速く走るためにはどうすればよいか、協力し合って考えることが出来るようになる。	10	
	10	全領域選択 Ⅳ・Ⅴ	器械運動 (マット運動)	自己の課題に応じて、技の合理的な動き方のポイントがわかるようになる。健康や安全を確保して、適切な練習方法を選択することができる。	43	
			柔道	基本的動作を身に付ける。簡単な入り方と返し方を身に付ける。しかけ技、応じ技を身に付けるとともに、自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに対応した攻防ができるようにし、試合をする。		
	11		ダンス	ダンスの特徴についての理解と課題の解決を目指した計画的な実戦を通して、交流し発表する。		
	12		バスケットボール	個人的技能として、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につけるようにする。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		

Ⅲ	1 2	全領域選択 Ⅳ・Ⅴ	バレー	個人的技能としては、サービス、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロックなどの基本を身につけ、防御から攻撃への連携を生かし、ゲームができるようにする。		
			卓球	個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身につける。相手の動きや打球に対応した作戦を立て、ゲームができるようにする。		
			バドミントン	個人的技能としては、ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピンなどを身につけるようにする。相手の動きやフライトの特徴に対応して作戦を立て、ゲームが出来るようになる。		
	3	体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	

4　課題・提出物等　　96

新体力テスト記録用紙

5　評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点で行います

評価の観点・規準	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動している。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・レポートや提出部の内容 ・授業への取り組み（授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況） ・テスト			

以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。

6　担当者からの一言

・体育授業時における毎時間の体つくり運動の継続は、体力向上に大いに役立ちます。
・本校生徒は、皆一生懸命体力つくり運動に取り組んでいます。

平成２９年度シラバス（保健体育）　　学番23　新潟県立新発田高等学校

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	2	学年　系	2学年理数科
使用教科書					
副教材等					

1　学習目標

各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2　指導の重点

・各種の基本的な個人的技能やルールを身につけさせる。
・社会的な態度を育てる。
・自己の体力に気づき、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送ることができる能力を育てる。

3　指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を１時限とした時間数）

期	月	単元名	学習種目	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
Ⅰ	4	オリエンテーション		授業内容説明、諸注意、諸連絡	1	各単元の技術習得 各単元の特性の知識・理解 運動に関する関心・意欲・態度 課題解決のための思考・判断 出席状況(欠席・見学) グループノート
	5	体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	4	
	6	体力テスト		自己の体力や運動能力の現状を把握し、体力の保持増進、健康管理に役立てることができる。	4	
		全領域選択 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	陸上競技 (短距離走・ハードル走 走り幅跳び)	自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが出来るようになる。	12	
			ラグビー	個人的技能のハンドリング・パス・キック・キャッチなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
			ソフトボール	個人的技能としては、スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
	7		サッカー	個人的技能のパス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュートなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
			テニス	個人的技能としては、グランドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス・レシーブなどを身に付ける。個人技能を活用して相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようになる。		
		体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	
Ⅱ	8 9	体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	4	
	10	持久走		自己の心身の状態を把握し、心拍数を使って運動強度を変えるなどして走ることが出来るようになる。速く走るためにはどうすればよいか、協力し合って考えることが出来るようになる。	7	
	11	全領域選択 Ⅳ・Ⅴ	器械運動 (マット運動)	自己の課題に応じて、技の合理的な動き方のポイントがわかるようになる。健康や安全を確保して、適切な練習方法を選択することができる。	26	
			柔道	基本的動作を身に付ける。簡単な入り方と返し方を身に付ける。しかけ技、応じ技を身に付けるとともに、自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに対応した攻防ができるようにし、試合をする。		
			ダンス	ダンスの特徴についての理解と課題の解決を目指した計画的な実践を通して、交流し発表する。		

	12	全領域選択 Ⅳ・Ⅴ	バスケット ボール	個人的技能として、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につけるようにする。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
Ⅲ	1		バレー	個人的技能としては、サービス、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロックなどの基本を身につけ、防御から攻撃への連携を生かし、ゲームができるようにする。		
	2		卓球	個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身につける。相手の動きや打球に対応した作戦を立て、ゲームができるようにする。		
	3		バドミントン	個人的技能としては、ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピンなどを身につけるようにする。相手の動きやフライトの特徴に対応して作戦を立て、ゲームが出来るようになる。		
		体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	

4　課題・提出物等　　64

新体力テスト記録用紙

5　評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点で行います

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
評価の観点・規準	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動している。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・レポートや提出部の内容 ・授業への取り組み（授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況） ・テスト			

以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。

6　担当者からの一言

・体育授業時における毎時間の体つくり運動の継続は、体力向上に大いに役立ちます。
・本校生徒は、皆一生懸命体力つくり運動に取り組んでいます。

平成２９年度シラバス（保健体育）　学番23 新潟県立新発田高等学校

教科(科目)	保健体育(保健)	単位数	1	学年　系	2学年
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)				
副教材等	図説現代高等保健(大修館書店)				

1　学習目標

個人及び社会生活における健康･安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2　指導の重点

生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることと及びわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することの重要性が理解できるようにする。また健康の保持増進には、環境などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の健康、労働と健康について理解できるようにする。

3　指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を１時限とした時間数）

期	月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
Ⅰ	4 5	生涯を通じる健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○思春期と健康 ○性意識と性行動の選択	･思春期の体と健康 ･思春期の心と健康 ･性意識の変化と異性の尊重 ･性に関する情報と性行動	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅰ	5 6	生涯を通じる健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○結婚生活と健康 ○妊娠･出産と健康	・心身の発達と結婚生活 ・結婚生活と家族の健康 ・受精、妊娠、出産 ・妊娠、出産期の健康のために	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅰ	6 7	生涯を通じる健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○家族計画と人工妊娠中絶 ○加齢と健康	･家族計画の意義と避妊法 ･人工妊娠中絶 ･加齢にともなう心身の変化 ･中高年期を健やかに過ごすために	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ	8	生涯を通じる健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○高齢者のための社会的取組 ○保健制度とその活用	･高齢者の健康課題とその支援 ･すべての人が健康で安全に暮らすための取組 ･保健行政の役割と健康づくり ･保健サービスの活用	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ	9 10	生涯を通じる健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○医薬品と健康 ○さまざまな保健活動や対策	･医薬品の種類と使い方 ･医薬品の安全性のための対策 ･健康づくりのための活動 ･民間機関の保健活動 ･国際機関の保健活動	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ	11	社会生活と健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○大気汚染と健康 ○水質汚染・土壌汚染と健康	･大気汚染の原因と健康影響 ･大気にかかわる地球規模の問題 ･水質汚濁とその健康影響 ･土壌汚染とその健康影響 ･大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり	4	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅱ	12	社会生活と健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○健康被害の防止と環境対策 ○環境衛生活動のしくみと働き	･環境汚染の防止とその対策 ･産業廃棄物の処理と健康 ･ごみの処理 ･上下水道の整備とし尿の処理	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
Ⅲ	1	社会生活と健康	現代高等保健体育 図説現代高等保健	○食品衛生活動のしくみと働き ○食品と環境の保健と私たち	･食品の安全性 ･行政や製造･加工者による衛生管理 ･食品の安全と私たちの役割 ･環境の保健と私たちの役割	2	授業の取組 提出プリント レポート内容

	2		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○働くことと健康 ○労働災害と健康	・働くことと健康のかかわり ・働き方と健康問題の変化 ・労働災害とその防止 ・安全管理と健康管理のしくみ	3	授業の取組 提出プリント レポート内容
	3		現代高等保健体育 図説現代高等保健	○健康的な職業生活	・職場における取組 ・日常生活における取組	1	授業の取組 提出プリント レポート内容

4　課題・提出物等

32

・レポート
・配布プリント

5　評価規準と評価方法

評価は次の3つの観点で行います。

評価の観点・規準	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
	個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。	個人生活・社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。

評価方法
・レポートや提出物
・授業への取り組み(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況)
・定期テスト

以下の観点を踏まえ、総合的に判断します。

6　担当者からの一言

私たちは生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要がある。また、わが国の保険・医療制度や期間を適切に活用することの重要性、社会生活における健康の保持増進には、環境などが深く関わっていることなどをこの教科では学びます。

平成２９年度シラバス（保健体育）　　学番23　新潟県立新発田高等学校

教科(科目)	保健体育(体育)	単位数	2	学年　系	3学年普通科・理数科
使用教科書					
副教材等					

1　学習目標

各種の運動の合理的な実践を通して運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

2　指導の重点

・各種の基本的な個人的技能やルールを身につけさせる。
・社会的な態度を育てる。
・自己の体力に気づき、生涯にわたり豊かなスポーツライフを送ることができる能力を育てる。

3　指導計画（「時間」の欄は授業時間55分を１時限とした時間数）

期	月	単元名	学習種目	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
Ⅰ	4	オリエンテーション		授業内容説明、諸注意、諸連絡	1	各単元の技術習得 各単元の特性の知識・理解 運動に関する関心・意欲・態度 課題解決のための思考・判断 出席状況(欠席・見学) グループノート
	5	体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	4	
	6	体力テスト		自己の体力や運動能力の現状を把握し、体力の保持増進、健康管理に役立てることができる。	4	
		全領域選択 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	陸上競技 (短距離走・ハードル走 走り幅跳び)	自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことが出来るようになる。	12	
			ラグビー	個人的技能のハンドリング・パス・キック・キャッチなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
			ソフトボール	個人的技能としては、スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
	7		サッカー	個人的技能のパス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュートなどの基本的技能を身につける。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
			テニス	個人的技能としては、グランドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス・レシーブなどを身に付ける。個人技能を活用して相手の動きや打球に対応した作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようになる。		
		体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	
Ⅱ	8 9	体つくり運動		手軽な運動や規律的な運動を行うことにより、自分や仲間の体や心の状態に気付いたり、体の調子を整える。	5	
	10 11	全領域選択 Ⅳ・Ⅴ	器械運動 (マット運動)	自己の課題に応じて、技の合理的な動き方のポイントがわかるようになる。健康や安全を確保して、適切な練習方法を選択することができる。	32	
			柔道	基本的動作を身に付ける。簡単な入り方と返し方を身に付ける。しかけ技、応じ技を身に付けるとともに、自己の能力に応じた技を選び、相手の動きに対応した攻防ができるようにし、試合をする。		
			ダンス	ダンスの特徴についての理解と課題の解決を目指した計画的な実戦を通して、交流し発表する。		

Ⅱ	12	全領域選択 Ⅳ・Ⅴ	バスケット ボール	個人的技能として、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につけるようにする。集団的技能や個人的技能を活用して、学習段階に応じた作戦を立てゲームが出来るようになる。		
Ⅲ	1		バレー	個人的技能としては、サービス、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロックなどの基本を身につけ、防御から攻撃への連携を生かし、ゲームができるようにする。		
	2		卓球	個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身につける。相手の動きや打球に対応した作戦を立て、ゲームができるようにする。		
	3		バドミントン	個人的技能としては、ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピンなどを身につけるようにする。相手の動きやフライトの特徴に対応して作戦を立て、ゲームが出来るようになる。		
		体育理論		スポーツの歴史、各競技の特性・技術・ルール等について理解する。スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解する。	3	

4　課題・提出物等　　64

新体力テスト記録用紙

5　評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点で行います

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
評価の観点・規準	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動している。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。	生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身につけている。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・レポートや提出部の内容 ・授業への取り組み（授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況） ・テスト			

以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。

6　担当者からの一言

・体育授業時における毎時間の体つくり運動の継続は、体力向上に大いに役立ちます。
・本校生徒は、皆一生懸命体力つくり運動に取り組んでいます。